

千葉市キャリア教育の基本方針 未来を拓くキャリア教育【概要版】

背景・・・社会の変化

- ✓予測困難な時代・・・価値観や社会構造の変化、AIなどにより新しく生まれる職業の増加など
- ✓人生100年時代・・・複線型の働き方はじめ人生のステージの多様化など
- ・その時に応じた様々な生き方や新しい職業などがある。
- ・また、児童生徒それぞれの多様性を踏まえる必要がある。



自分らしい生き方を見つける

本市キャリア教育の目標

一人ひとりが自分のよさや可能性に気付き、
夢や目標、希望に向けて、主体的に行動できる児童生徒の育成



※「夢」は、職業選択の意味に限らず、「自分が将来なりたい姿・したいこと」と捉える。

本市キャリア教育の進め方

- ・本市の資産である様々な企業や地域の人々などの協力を得て進めていく。
 - ・「キャリア教育グランドデザイン」を基盤として、「キャリア・パスポート」を中心にキャリア教育を進める。
- 子ども、教職員、地域、家庭、企業等が主体的にキャリア教育に関わっていくことを目指す。

本市キャリア教育の方向性



(1)各学校全体での
キャリア教育の推進

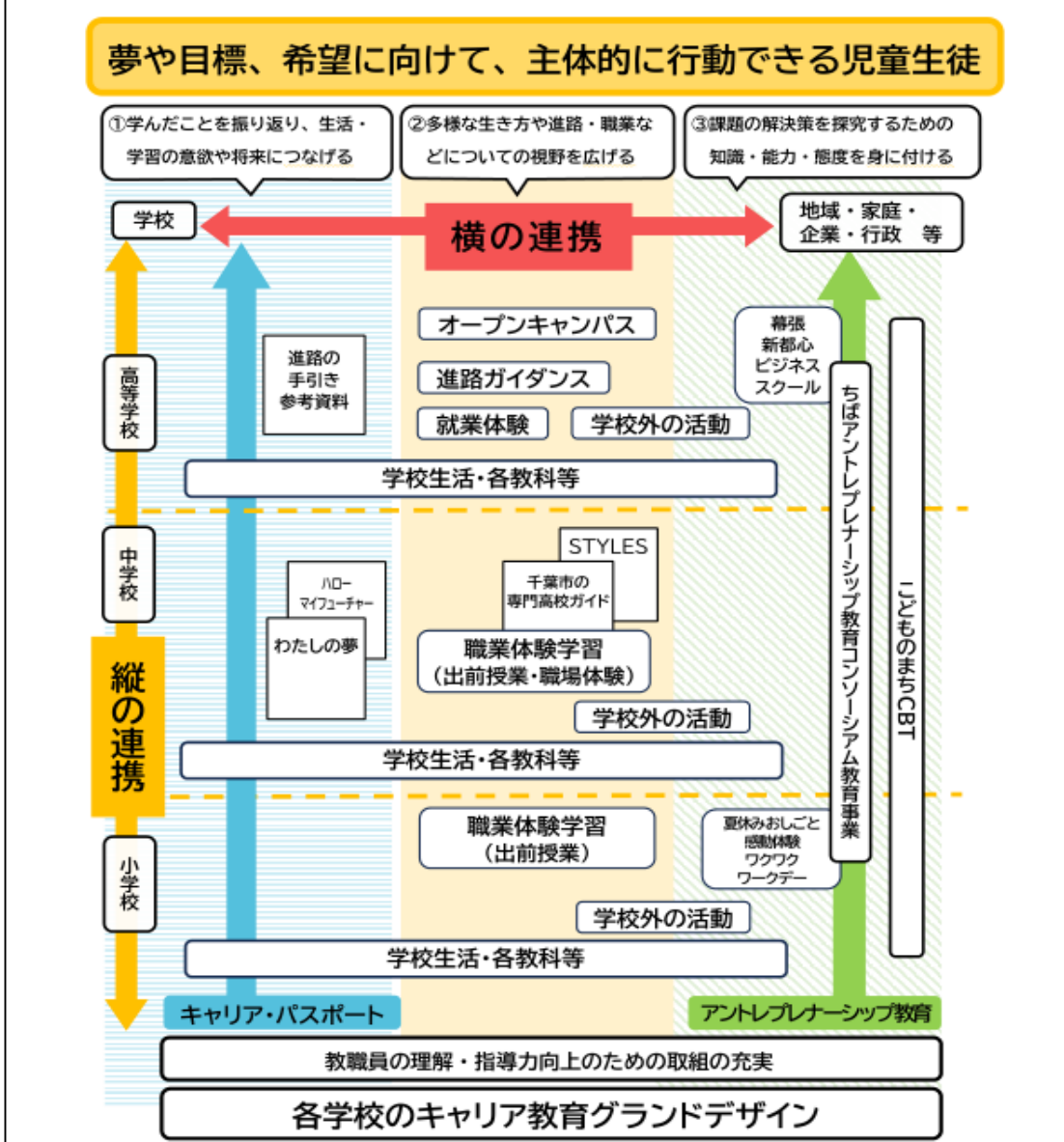
(2)小・中・高各段階の
「縦」の連携の推進

(3)地域・家庭・企業等と
の「横」の連携の推進

(4)教職員の理解・指導力
向上のための取組の充実

本市のキャリア教育について

キャリア教育を支える環境「縦と横の連携図」



縦と横の連携を支えるもの

- キャリア教育グランドデザイン
 - ・各学校で作成する際のポイント
- 教職員の理解・指導力向上のための取組の充実
 - ・研修や学年会等の活用と校内で共通理解したいこと



縦の連携

- キャリア・パスポートの活用法
 - ・キャリア・パスポートを活用した指導事例
- 学校生活・各教科等
 - ・日常の中での指導や振り返り活動の充実



横の連携

- 家庭との連携
 - ・学習参観や保護者会、学校便り、HPなどを通したキャリア教育の周知、理解、協力
- 地域との連携
 - ・地域の人材活用(教科等の学習、学校行事、校外学習など)
- 産業界との連携
 - ・様々な企業等を活用した職業体験学習



発達段階ごとのキャリア教育

- 小学校段階、中学校段階、高等学校段階
 - ・それぞれの段階における主な発達課題とキャリア教育の方向性

学校と教育委員会、市長部局、企業等が連携し、市内各所で実施されてきた様々な取組について、つながりやねらいを整理した。